

ジェイマックス外部評価室便り 秋号

いつもお世話になっております。

サービス評価が新しくなり、1年と7カ月が経ちました。月日の経つのは早いものですね。多くのグループホームが新しいサービス評価を経験しています。

私たち評価機関、評価調査員も、試行錯誤しながら新しい外部評価の方法に慣れてきました。

評価機関では、外部評価実施を重ねることで、新しく加わった「家族評価」「地域評価」の意義を感じています。アンケート結果の平均値をとり、記号化(◎○△×)して見える化を図っているのですが、自己評価や外部評価の記号と並べて見ることで「気付くこと、わかること」があります。

「同じものを見ても立場によって見え方が違う」おもしろいですね。評価結果をそのままにせず、職員会議、運営推進会議、家族会などいろいろな場で提示して、サービスについていろいろな意見や声を拾っていきましょう。評価の活用方法について工夫しているようなケースがあればぜひ、訪問調査日に教えてくださいね。

今後も JMACS はグループホームにとって意義ある外部評価が実施できるように全力で取り組みます。ご意見や提案などがあればお気軽にご連絡ください。

JMACS 外部評価室 一同

< 評価調査員のつぶやき >

「私にとっての外部評価調査」 神野

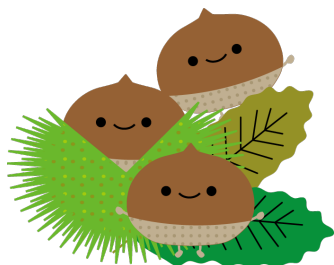
車を降りて深呼吸、訪問調査は毎回緊張します。

何度か訪問し、顔見知りになった管理者さんに、気さくに声をかけていただくと緊張の糸が少し緩みます。職員さん、利用者さんの明るい表情を見るとほっとします。

当初は、何もわからず、少し経つと、奥の深さに躊躇した外部評価調査員の仕事。今は、「どう生きるか」の勉強をさせてもらっているなど思うようになりました。

何を望み、どう暮らしたいのかなんて考えることもなかった日々から「楽しみは」「嫌なことは」「こだわりは」なんだろうと自問自答している日々に。

もうしばらくは、緊張しながら人生の先輩たちに会いに行きたいと思っています。



「キラキラしてた頃の自分」 元木

11月に東予で外部評価にお伺いする事業所を詳しく調べると、なんと30数年前、社会人1年生の時に、愛媛で一人暮らしを始めたアパートが有った場所でした。

その当時からボロボロだったので、壊されているとは思っていましたが、跡地にグループホームが建っていたなんて。何事も新鮮でキラキラして一生懸命にやっていた、その当時の記憶が鮮明に蘇ります。

年を取って覚えていくこと「言い訳」や「ずるさ」、失っていくこと「素直さ」や「純粹さ」、まるで「原点」を思い出せと言われていたような気がします。身体も心もあの頃に戻りたい!

特定非営利活動法人 JMACS (ジェイマックス)

〒790-0011 松山市千舟町6丁目1番地3チフネビル501

TEL 089-913-0302 FAX 089-913-0348

info@jmacs.jp http://jmacs.jp

